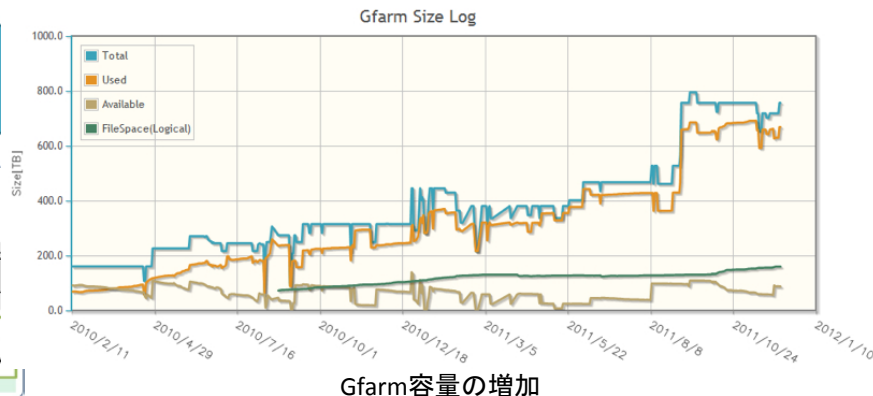
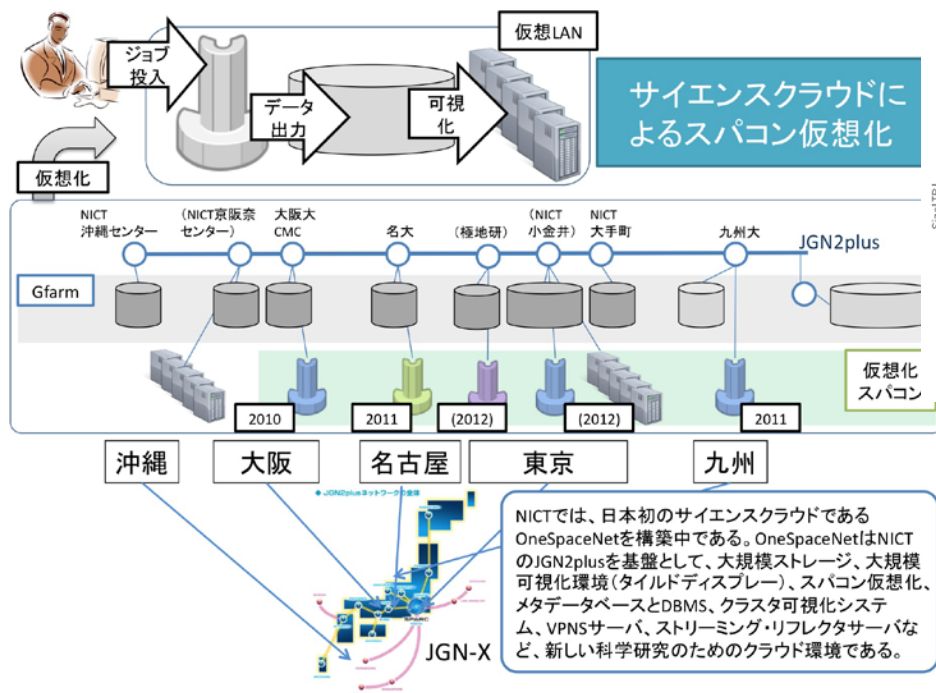


グリッドデータファームによる大規模分散ストレージの構築とサイエンスクラウド技術の研究

(学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点 平成23年度共同研究)

村田 健史、亘 慎一、加藤 久雄、品川 裕之、田 光江、久保 勇樹、井上 諭、陣 英克 ((独)情報通信研究機構)
 深沢 圭一郎(九州大学情報基盤研究開発センター)

- 目的:** NICT宇宙天気クラウドへの計算資源提供を課題として、それに必要なデータフローを実現するための環境構築と関連するミドルウェアの開発を行う。
- 内容:** 各大学のスパコンセンターにディスクサーバを設置し、それらをJGN2plus(現在はJGN-X)で高速L2接続し、分散ストレージミドルウェアであるグリッドデータファーム(Gfarm2)によって大容量ネットワーク分散仮想ストレージを構築し、同時に、各大学のスーパーコンピュータをクラウドに接続し、マルチスパコン仮想化を実現する。
- 結果:** 大阪大学、名古屋大学とのGfarmノード接続およびスパコン仮想化を実現し、これまでに800TB以上のネットワーク分散仮想ストレージを構築した。



利用した計算機: SX-8R, SX-9
 CPU時間: 20時間
 使用メモリ: 20 GB
 ベクトル化率: 95%
 並列化: 8並列